▲　雨にうたれピンク色もあざやかな桃の花　　（4月8日・松崎家）

慧　光

金光寺寺報
第２７３号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎　０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

まことに　浄土真宗とは　聞法が　いのちであった

近田昭夫

四月のことばは、近田師の著書の中に「如来したまう本願は、相手の身になって、その身の事実を引き受けて立ち上がる力となろうという、未曽有の救済プランだと言ったら言い過ぎでしょうか。大悲の仏心に目ざまされたら、『面ァ洗って出直しだ』と、身の事実から歩み立てます。弱い者に弱いまま立てる心がおこります。まことに浄土真宗とは聞法がいのちであったと知らされるではありませんか」とあるお言葉からです。

「聞法」とは、法を聞くこと。法とは仏さまの教え。仏さまの教えとは本願のことです。「聞法」とは、「私が南無阿弥陀仏と称えて生きること」について、「仏さまの最も大切な願いが、私に実現していることである」と聞くことです。念仏を称えていることは、仏さまの本願の心が私の上に実現していること。そのように聞き容れながら生きることが、浄土真宗そのものです。そうした聞法の大切さを、師は「いのち」とおっしゃるのでしょう。

また、私が絶望から歩み始めることは、仏さまの最も大切な願いと共に生きることです。念仏申していても、私が仏さまの願いを聞き容れないまま生きることは、仏さまのことを知らぬままに生きることです。仏さまの願いは、仏さまの「いのち」です。私が念仏を称え生きることは、仏さまの「いのち」です.絶望の世界では、仏さまの「いのち」を見失います。私がしあわせになることは、仏さまの「いのち」です。その意味で、聞法は仏さまの「いのち」です。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　４月

１９日～
２０日　（終日）

３月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

２０２４年　３月　３日　満８０歳
宮崎市　松　井　　守　様
２０２４年　３月２９日　満８９歳
波帰上　松　永　ケサミ　様
２０２４年　３月３０日　満８８歳
波帰上　佐　藤　　恵　様

鞍岡　3月の天候　（アメダス）
最低気温・－６．３℃（３日）
最高気温・２３．３℃（３１日）
真冬日日数・　０日/３１日
冬日日数・　１３日/３１日
月間総雨量・307.5㎜　（降雨日数・18日）
一日最大雨量・１５２．５㎜（２４日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
４月８日現在アクセス数　150,566

金光寺のひと月

三月

一日　椎葉　守様　二十五回忌
椎葉　ハル様　二十五回忌
二日　樫本マキノ様　七回忌
吉村　友喜様　十三回忌
吉村　拓也様　七回忌
馬原ケサ子様　一周忌
松井　善章様　七十七回忌
松井　サダ様　五十五回忌
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
長澤　泉様　三十三回忌
山本　文香様　一周忌

五日　斉家シゲノ様　二十五回忌
松井　守様　通夜
六日　松井　守様　葬儀、火葬
松井　守様　初・七日忌
八日　興梠　忠様　満中陰・納骨
九日　綾　常政様　二十五回忌
杉村　恵様　七回忌
十日　藤本　フクノ様　二十五回忌
高千穂組第八期第八回
連続研修会（泉福寺）
十二日　宮崎別院責任役員・総代会
第七回組長会（宮崎教務所）
十三日　甲斐ツヨ子様　十三回忌
十七日　野田　浪子様　一周忌
十八日　当山前住職釋依章　祥月
波帰・本屋敷地区寺報配布
十九日　西村セツ子様　一周忌

二十日　当山彼岸会法要
金光寺仏教婦人会総会
二十三日　藤田　勉様　二十五回忌
甲斐　次男様　八回忌
甲斐　春喜様　七回忌
二十四日　成松　忠様　十七回忌
二十九日　松永ケサミ様　臨終勤行
三十日　佐藤　恵様　臨終勤行
泉　武様　五十回忌
馬原三千子様　一周忌
松永ケサミ様　通夜
三十一日　松永　信人様　三回忌
藤岡　慶成様　三十三回忌
松永ケサミ様　葬儀、火葬
松永ケサミ様　還骨・納骨
松永ケサミ様　初・七日忌
佐藤　恵様　通夜

住職ひとりごと

三月末長期休暇を頂き、ありがとうございました。（住職　松井卓郎）